

# 進路だより

令和6年3月6日  
早島支援学校  
NO. 6 (最終号)  
進路係発行



## AB 高等部実習報告会

A 高は2月2日、B 高は2月20日にそれぞれで実習報告会を行いました。AB 高 I II 組の生徒が進路決定に向けての取り組み（現場実習、事業所見学等）について、自分で作成したスライドを使用して、どの事業所で何日間実習をしてどのような作業をしたか、現場実習の目標とその振り返り、今後に向けての課題等を発表しました。具体的な発表内容で、発表を聞いた人もその事業所のことを知らなくてもイメージしやすかったのではないのでしょうか。練習の成果を発揮して堂々とした態度で発表に臨む姿、仲間や先輩の発表を真剣に聞く姿が印象的でした。

高等部保護者の皆様、実習中は送迎や準備等、御協力ありがとうございました。

※現場実習は高等部1年生の2学期から始まります。あらかじめ見学した事業所の中から実習してみたい事業所を本人・保護者に決めていただき実習を行います。基本的に保護者の付き添いが必要です（事業所側から「付き添いは不要です」と言われる場合もあります）。小学部から事業所見学はできますので、見学を御希望の場合はいつでも担任・進路係へ御連絡ください。



【A 高の様子】



【B 高の様子】

## AB 高等部「進路について語る会」

2月6日に AB 高で、「進路について語る会」を行いました。今年度は、B 型事業所、A 型事業所、一般企業で働いている3名の卒業生に参加してもらい、AB 高 I・II 組の生徒に、仕事のやりがい、体調管理で気を付けること、在校中に身に付けておくべき力等についての話をしていただきました。生徒は皆真剣な表情で、しっかりとメモを取りながら話を聴きました。質疑応答では、どの生徒もとてもよく考えながら自分の言葉で卒業生に質問し、卒業生も丁寧に答えてくれました。卒業生の生の声を聴き、自分の進路について考える良い機会となりました。



# 高3卒業時移行支援会議

今年度の「高3卒業時移行支援会議」が終了しました。卒業後地域社会で本人・保護者が希望する生活の実現に向けて、「誰が」「どのように」支援していくのかを共有する大切な会議です。



高等部では、上のイラストのように「将来の生活についての希望」を具体化していきます。「将来の生活についての希望」を考えるのは教師でしょうか？正解は…もちろん「本人（・保護者）」です。学校は相談、情報提供、助言を行うことはできますが、将来の生活（進路）を決定するのは本人・保護者です。

小中学部の児童生徒の皆さん、保護者の皆様も、ぜひ「将来の希望」「優先順位」を文字にしてみてください。「大学進学したい。」「働いて一人暮らしをしたい。」「送迎をして欲しい。」「お風呂に入りたい。」「ショートステイ先が欲しい。」などお子様本人、保護者の皆様の色々な希望・優先順位があると思います。それが第一歩となり、高等部卒業までにお子様がどんな力をつけられたらいいのか、家庭を支えるために必要な福祉サービスは何か、などが形になっていきます。

「希望」を明確にし、地域での応援団を探し、増やしていきたいですね。

# 進路先決定

今年15名の高等部卒業生が早島支援学校から巣立っていきます。新しい活躍の場を御紹介します。

## 【生活介護】

- ・倉敷市障がい者デイサービスセンター（倉敷市笹沖）
- ・これから（倉敷市徳芳）
- ・王慈療護園 エンゼル（倉敷市児島下の町）
- ・デイサービスセンターさち（倉敷市亀島）
- ・ひだまりいろ（倉敷市藤戸町藤戸）
- ・コトノハ（倉敷市栗坂）
- ・リハたすくらしき（倉敷市酒津）
- ・共生デイ アルク（倉敷市玉島乙島）
- ・おうちだ（岡山市北区撫川）
- ・おかやま共育・共働センターでんでん（岡山市南区古新田）
- ・そうじゃ晴々（総社市南溝手）

## 【就労継続支援 B 型事業所】

- ・ぽけっと（倉敷市藤戸町藤戸）
- ・いろどり（倉敷市中島）
- ・そうじゃ晴々（総社市南溝手）
- ・ホップ・ワン（岡山市北区神田町）

## 【職業訓練 等】

- ・岡山県立南部高等技術専門学校（倉敷市新田）

